

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	RAINBOW杵ヶ池クラブ		
○保護者評価実施期間	2025年3月 1日		～ 2025年 3月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34	(回答者数) 17
○従業者評価実施期間	2025年3月 1日		～ 2025年 3月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 26日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子さまや保護者様との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている。	ゆっくり話す、分かりやすい言葉で話す、見通しがつくように配慮するなど、その子の特性に応じた話し方や声掛けに気を配っている。	今後もお子さまの特性に合った支援、コミュニケーションを心掛けていく。
2	ケガ等が発生した時に速やかな連絡や状況説明をしている。	まずはお子さまの安全を確認し、処置をおこない、その後、可及的速やかに連絡を保護者様宛に入れるようにしている。	今後も事故やケガが発生しないよう十分な注意を払っていく。万が一そのような事態が発生してしまった際は、迅速な対応を行っていく。
3	子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言を行っていること。	例えば、送迎の際に伺った相談事などは直ちに児発管に共有し適切な助言と支援を行っている。また、その後、職員にフィードバックを行っている。	保護者様の悩み事に対する助言などを職員にフィードバックすること。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	児童クラブや児童館との交流、地域の他の子どもと活動する機会が少ないこと。	主に事業所内で活動しているため、交流する機会が少ないと思われる。	外出や外遊びの機会をつくり、他のお子さんと接するタイミングを意識的に増やす。例えば公園遊びであれば利用児に遊具の貸し借りを自分で言う練習をしてもらおうと同時に交流の場を設ける。
2	支援開始前に職員で十分な打ち合わせを行うこと。	送迎業務や非常勤職員の出勤時間の兼ね合いもあり、現状は支援開始前に全員揃って打ち合わせを行うことは難しいため。	管理者や常勤職員が中心となって個別のコミュニケーションや申し送りなどを行っていく。
3			